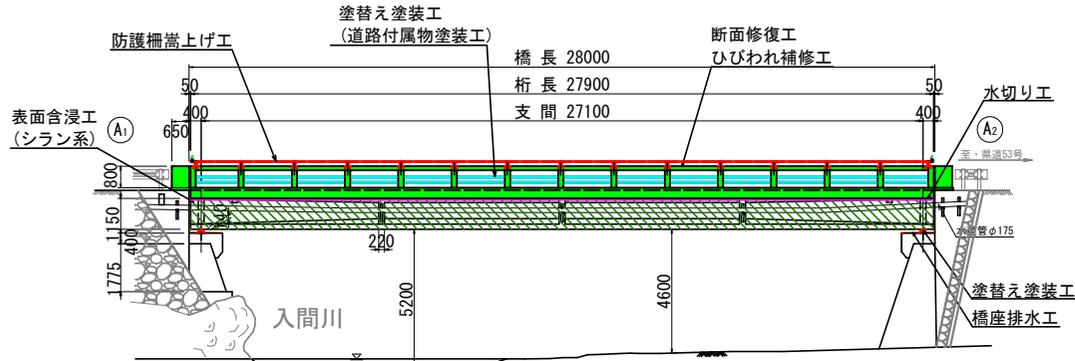
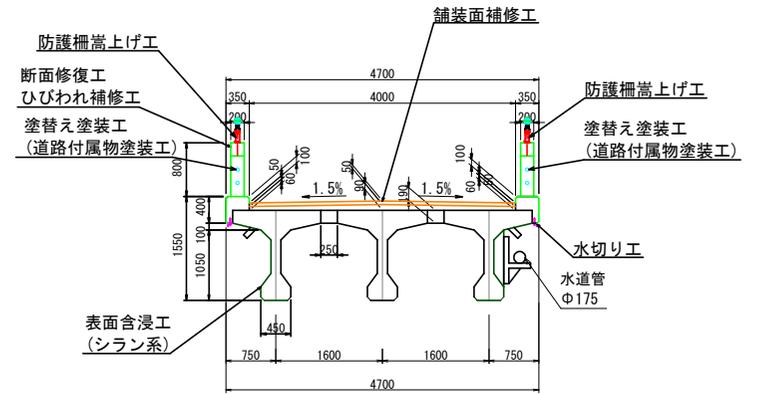


補修一般図 開運橋

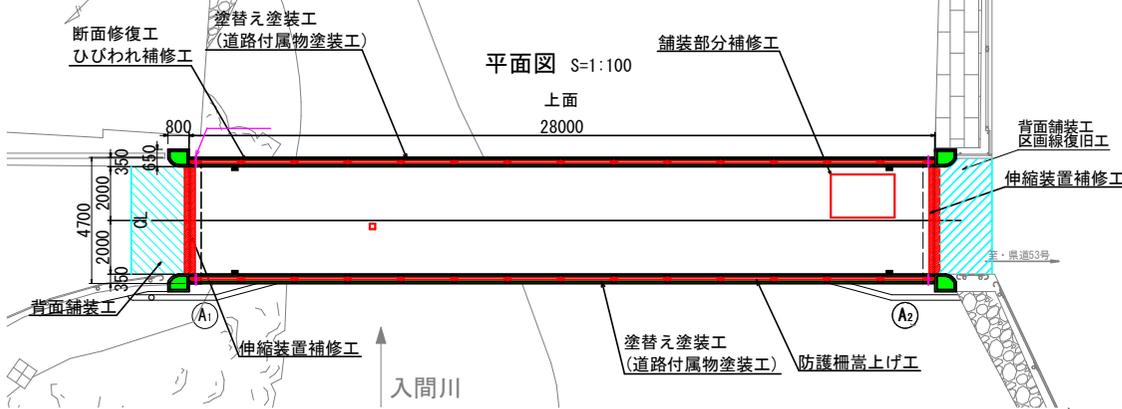
側面図 S=1:100



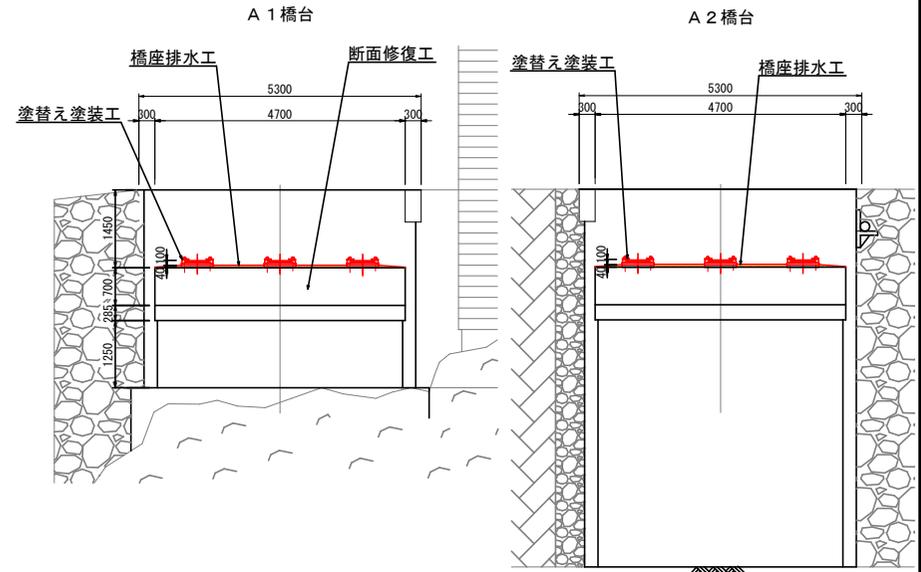
上部工標準断面図 S=1:40



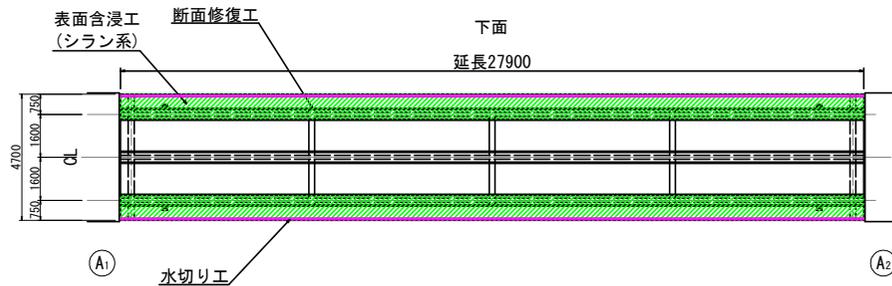
平面図 S=1:100



下部工正面図 S=1:50

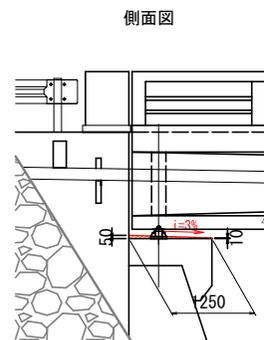
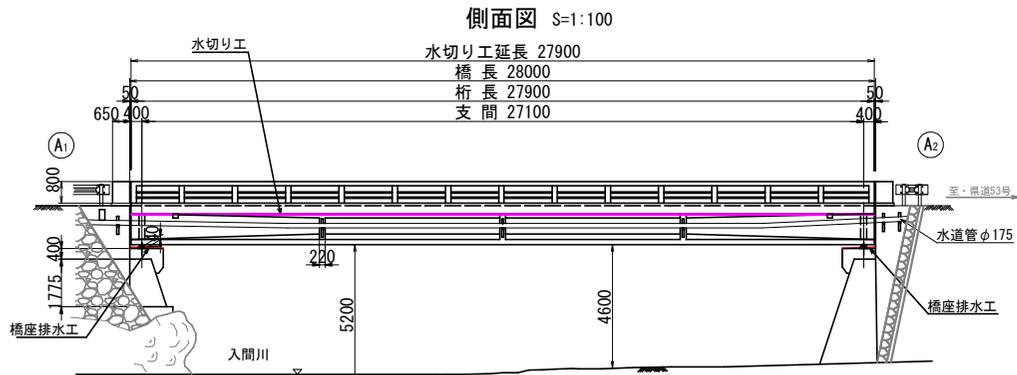


下面
延長27900



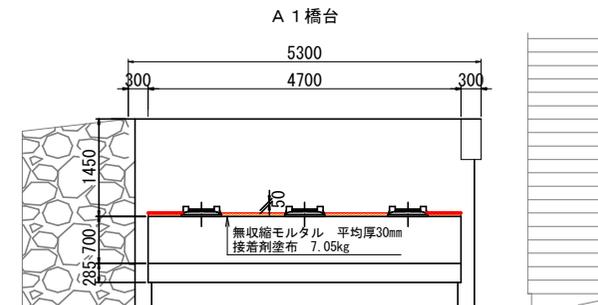
工事名	開運橋修繕工事		
路線名	市道8-2号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図面名	補修一般図		
縮尺	A1出力時図示	図面番号	1 / 10
飯能市建設部道路建設課			

水切り工、橋座排水工図 開運橋

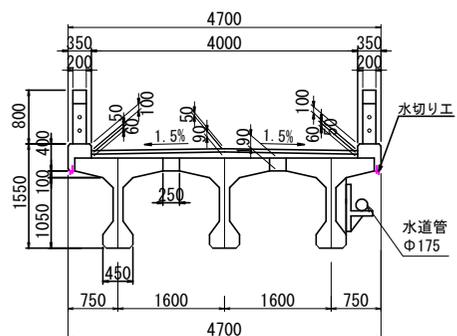


橋座排水工 S=1:40

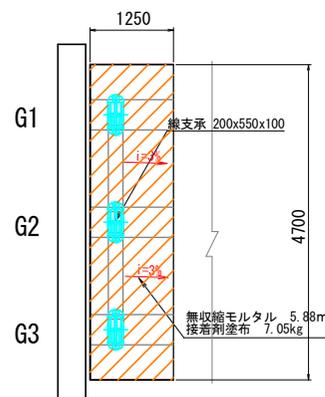
下部工正面図



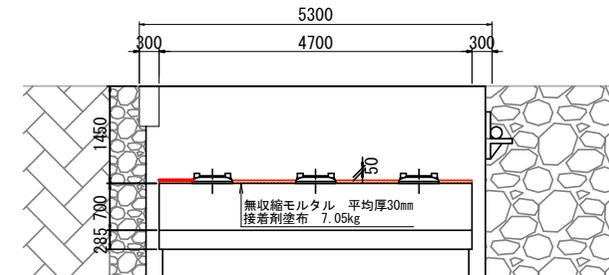
上部工標準断面図 S=1:40



平面図



A 2 橋台



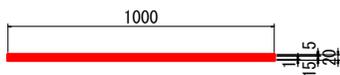
1. 施工フロー

- (1) 橋座面に3.0%の排水勾配を付ける。
- (2) サンダーケレン等の下地処理とすること。
- (3) 既設の宍座モルタルのうきや欠損は適宜撤去すること。
- (4) 支回りを含め排水面に凹凸ができないよう注意を払うこと。
- (5) 接着剤塗布を行う
- (6) 無収縮モルタルは左官用とする。(例:太平洋'レウ-ロックス'スパー)

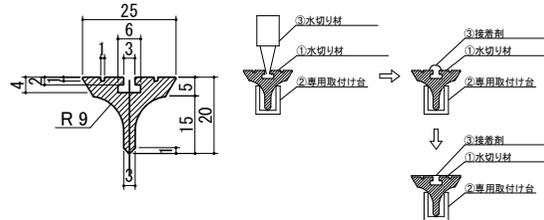
排水装置

工種	計算式	数量
橋座排水工		2基

水切り板設置工図



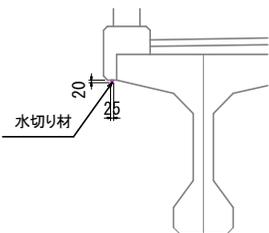
水切り板詳細図



注記：1. シーリング充填溝にシーリング材を充填して施工すること
2. 端部の斜め加工は、施工時に現地にて行うこと

水切り工

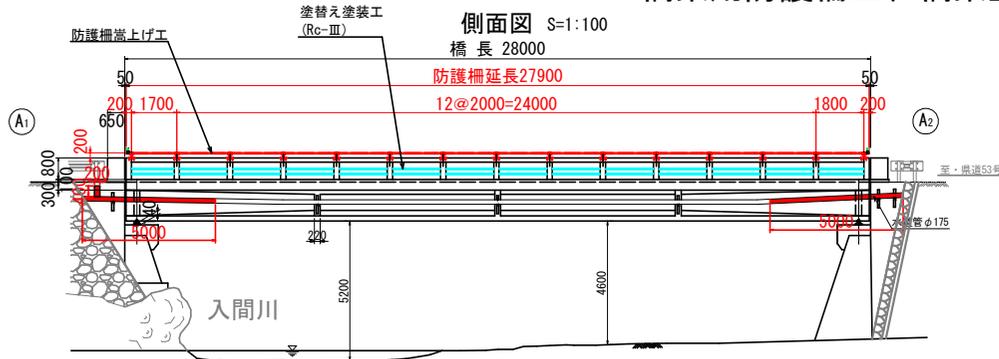
工種	計算式	数量
水切り板設置工	27.9×2ヶ所	55.8㎡



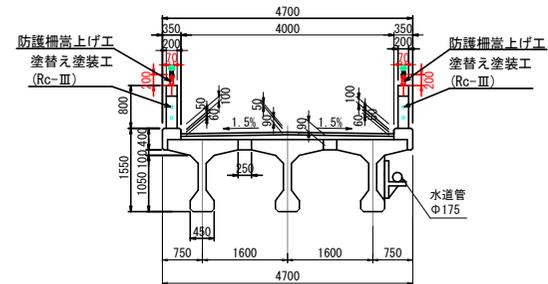
注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

工事名	開運橋修繕工事		
路線名	市道8-2号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図面名	水切り工、橋座排水工図		
縮尺	A1出力時図示	図面番号	3 / 10

橋梁用防護柵工、橋梁塗装工図 開運橋

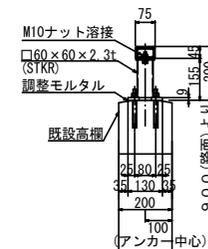


上部工標準断面図 S=1:50

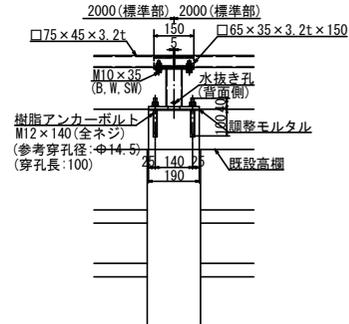


防護柵嵩上げ詳細図 S=1:10

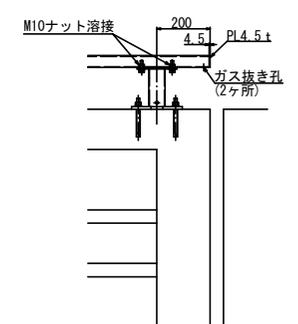
橋梁用防護柵



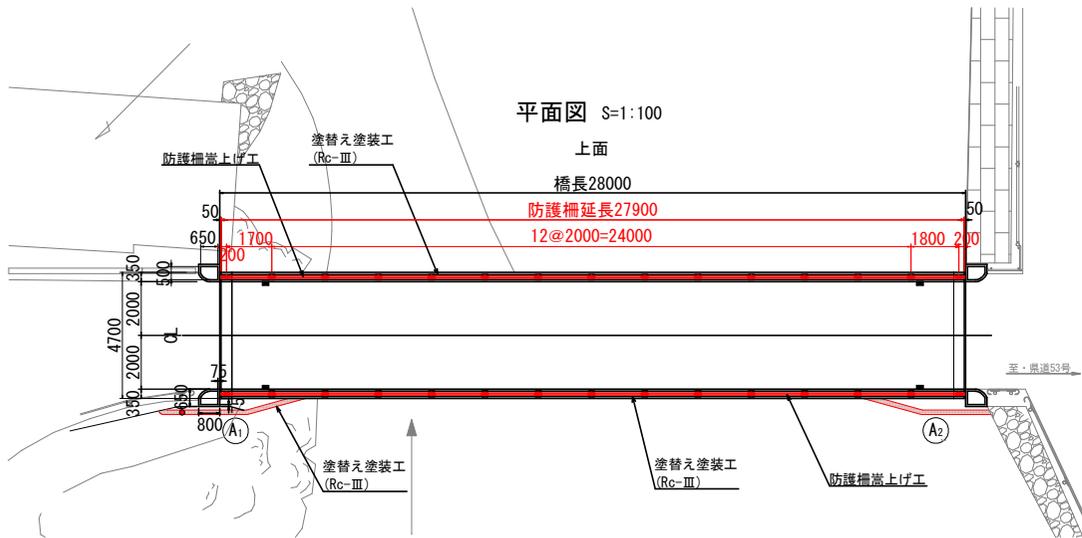
標準部



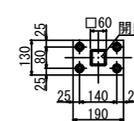
端部



平面図 S=1:100



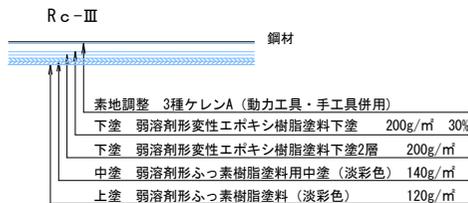
ベース図



嵩上げ高欄長	L= 55,800 m
端部処理	4ヶ所
ポスト総数量	30 本

※嵩上げ高欄長及びポストピッチはアンカー中心位置での実長を示す。
 ※施工にあたっては、現場にて計測及び防護柵に及ぼすアンカーボルトの影響を確認の上行うこと。
 ※設置位置は化粧モルタル上になるため、適宜施工面の調整を行うこと。

鋼材塗替塗装工



- 塗装色は、淡彩色(薄水色)とする。
管理者との協議の上で、最終的に決定とする。
- 素地調整は3種ケレンA(動力工具・手工具併用)とする。
- 下塗り1層目は錆ケレン面積とし30%と設定する。

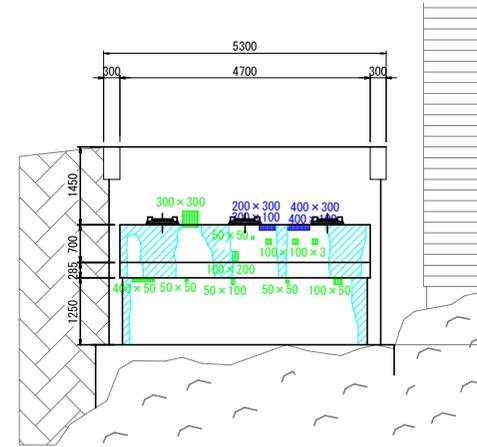
注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

工事名	開運橋修繕工事		
路線名	市道8-2号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図面名	橋梁用防護柵工、塗装塗替工図		
縮尺	A1出力時図示	図面番号	4 / 10
飯能市建設部道路建設課			

ひび割れ補修工、断面修復工図 開運橋

下部工正面図 S=1:50

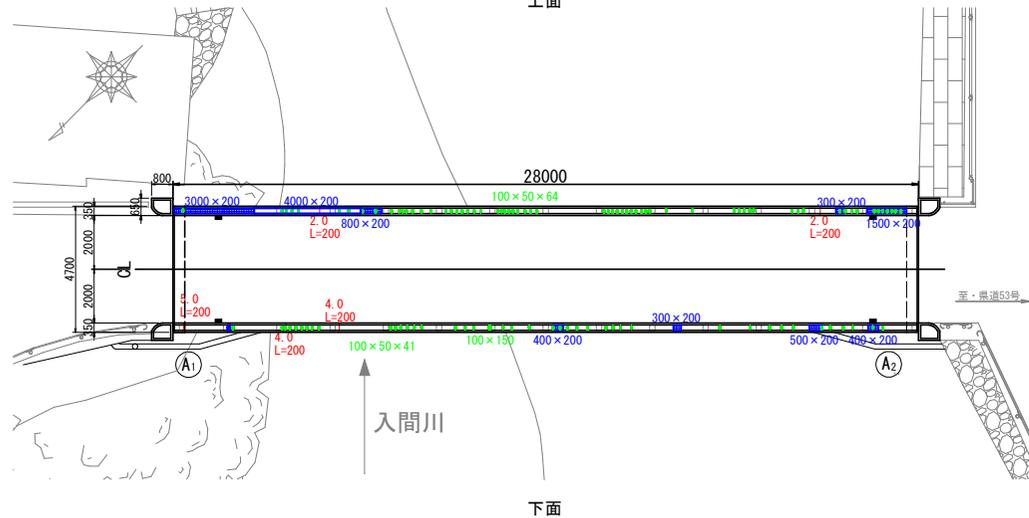
A1 橋台



※ A2 橋台は損傷なし

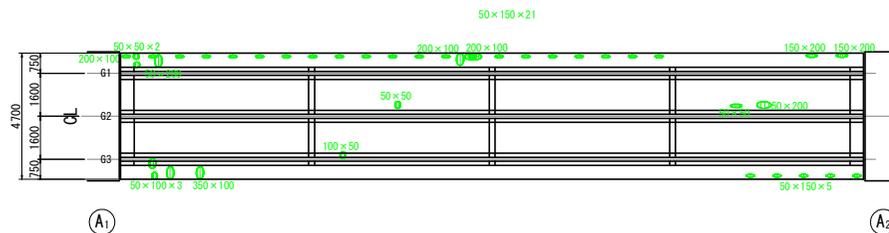
平面図 S=1:100

上面



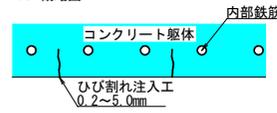
入間川

下面



ひび割れ補修工

1. 概略図



2. 施工フロー

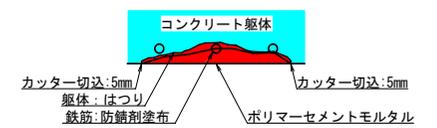
- ひびわれ注入工
- 0.2mm<ひび割れ幅≤5.0mm
- 低圧低速式ひびわれ樹脂注入
- 躯体清掃工
- 下地処理工
- シーリング工
- エポキシ注入

3. 注入工

- (1) 注入剤はエポキシ樹脂注入材3種で計上している。
- (2) 注入剤の設計数量は、1,200kg/m³、ロス率を+0.15として計上している。
- (3) 材料費として、シーリング材を幅50mm、厚1.5mm、1,700kg/m³、ロス率0.37で計上している。
- (4) ひび割れ深さは30mmと仮定する。
- (5) 低圧注入器具は1箇所@250mmとしている。
- (6) 機械経費等は諸雑費で計上している。
- (7) 施工前に損傷の発見に努め、事前に暫定施工数量を監督員に提出のこと。

断面修復工

1. 概略図



2. 施工フロー

- はつり工
- 研掃時にうき等を発見
- 下地処理
- 鉄筋ケレン、防錆剤塗布
- 含浸材塗布
- モルタル左官

3. 鉄筋処理

- (1) 鉄筋の腐食が進行している場合は、鉄筋背面まで はつり、錆落とし後防錆剤塗布のこと。
- (2) モルタルは鉄筋背面まで十分に充てんすること。また、空隙の発生防止に留意のこと。
- (3) 鉄筋の腐食が軽微で背面まで至っていない場合は、鉄筋背面までとはつらずに施工とする。
- (4) 浮き及び欠損部ははつり落す。その際に周辺部はカッターで5mm程度切込むこと。
- (5) 施工範囲は可能な範囲で、矩形とする。

凡例

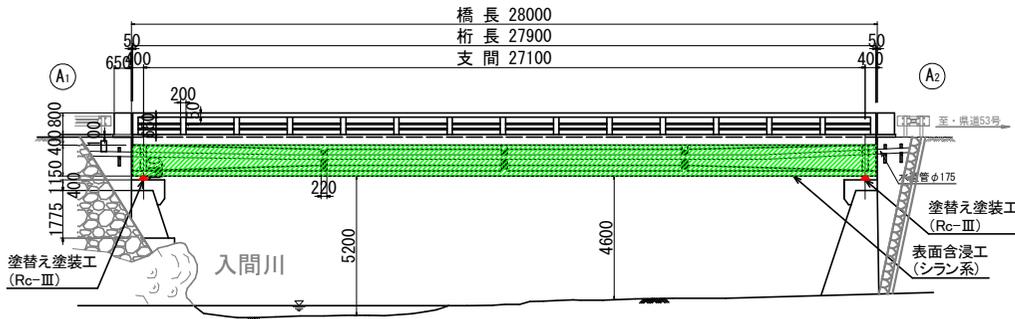
損傷の種類	表示
ひびわれ	
鉄筋露出	
剥離	
うき	

注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

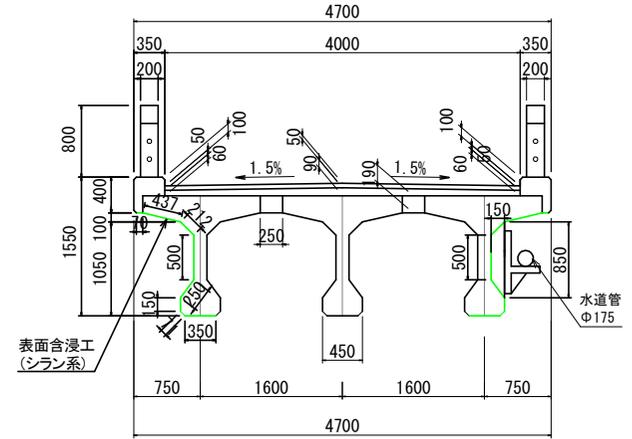
工事名	開運橋修繕工事		
路線名	市道8-2号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図面名	ひび割れ補修工、断面修復工図		
縮尺	A1出力時図示	図面番号	5 / 10
飯能市建設部道路建設課			

表面被覆工、橋梁塗装工図 開運橋

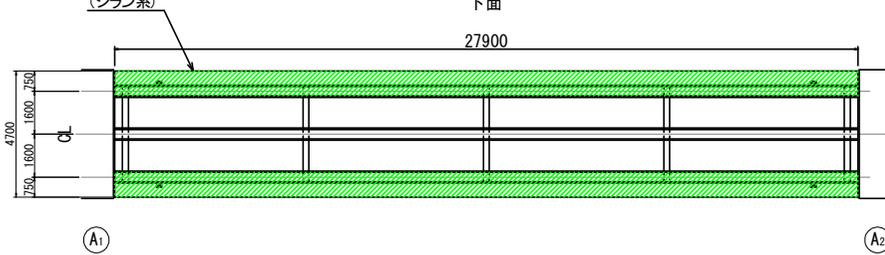
側面図 S=1:100



上部工標準断面図 S=1:30



表面含浸工 (シラン系) 下面



塗装塗替工 S=1:30

表面含浸工 (シラン系)

1. 概略図

コンクリート躯体

下地処理

含浸材塗布2回塗

シラン系 5.0m²/L

2. 施工フロー

```

    graph TD
      A[下地処理] --> B[ひびわれ等の確認 断面欠損等の確認]
      B --> C[ひびわれ注入工 断面修復(はつり)]
      C --> D[断面修復(左官)]
      D --> E[含浸材塗布]
    
```

鋼材塗替塗装工 Rc-III

鋼材

素地調整 3種ケレンA (動力工具・手工具併用)

下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 200g/m² 30%

下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗2層 200g/m²

中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (淡色) 140g/m²

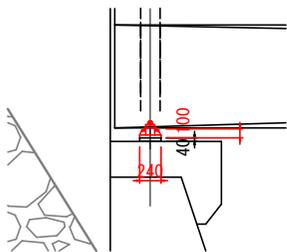
上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 (淡色) 120g/m²

(1) 塗装色は、淡色とする。
(2) 素地調整は3種ケレンA(動力工具・手工具併用)とする。
(3) 下塗1層目は鋼ケレン面積とし30%と設定する。

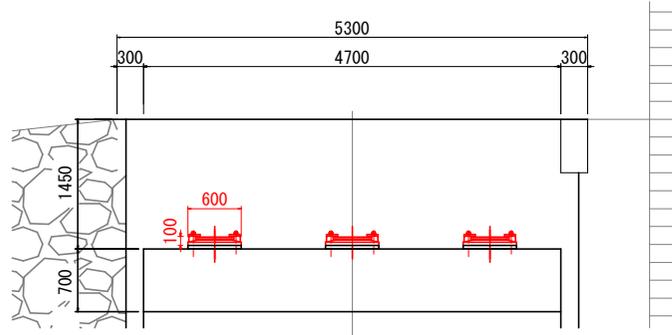
3. 諸注意

(1) 下地処理とは、コンクリート表面に付着しているレイタンス・ほこり等をサンダーケレンにより除去する作業である。
(2) 含浸材塗布の品質管理方法を事前に監督員に報告のこと。
(3) 下地処理後にひびわれ、断面欠損等の発見に努めて、これの補修を行うこと。(ひび割れ補修工・断面修復工参照)
(4) 表面含浸材は、シラン・シロキサン系とする。
(5) 表面含浸材は、ポリマーセメントとの接合性を確認のこと。
(6) 含浸材量は、Sクリートガードの割合を計上しているが他の使用も可とする。

支承側面図



支承正面図



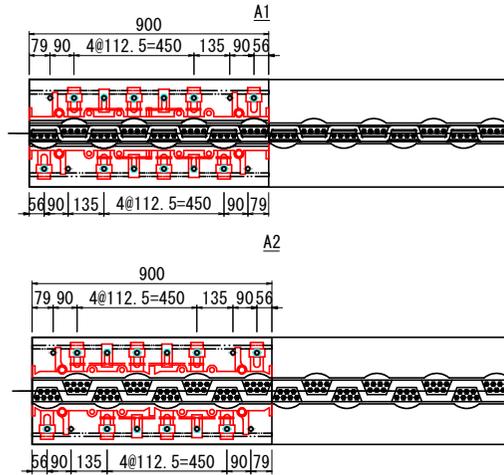
注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

工事名	開運橋補修工事		
路線名	市道8-2号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図面名	表面被覆工図、橋梁塗装工図		
縮尺	A1出力時図示	図面番号	6 / 10
飯能市建設部道路建設課			

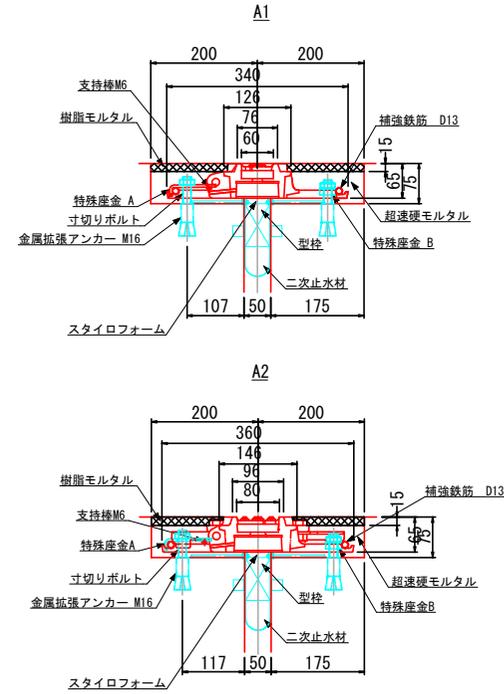
伸縮継手工図 開運橋

A1, A2 (車道部)

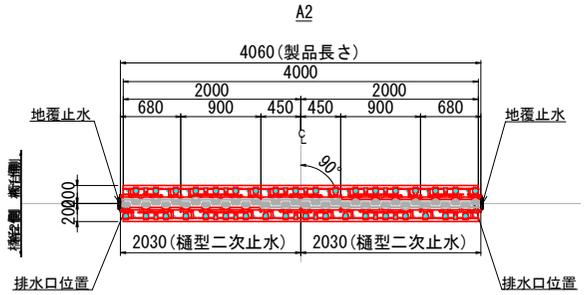
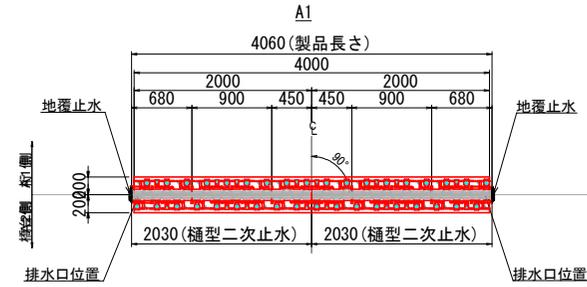
標準取付平面図 S=1:10



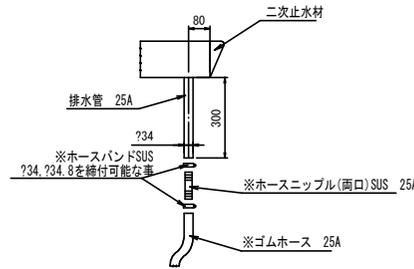
標準取付断面図 S=1:5



配置図 S=1:30

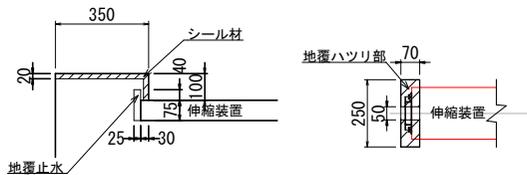


排水口詳細図 S=1:10



- (注) 1. 二次止水材排水口からの流末は、橋座面に滞りせぬよう排水ホースを取付 (別途工事) し、誘導する事。
 2. 排水ホース・固定金具の取付は、足場設備 (別途工事) にて行う事。
 3. 床版間が狭い場合は、排水パイプ設置に必要なスペースを確保する事。

地覆部詳細図 S=1:10



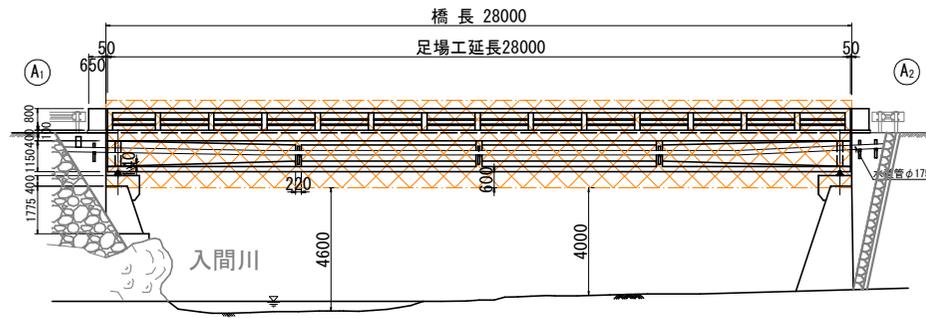
【指示事項】

- ※ 施工にあたっては、現地にて計測及び、橋体に及ぼすアカーブの影響を確認すること。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
 表層材は超速硬モルタル硬化後に施工を行うこと。
 伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。
- ※ 車道用 (横目地) 製品は実環境での負荷を想定した移動荷重にて30年相当の輪荷重走行試験を実施し疲労耐久性を確認した製品とする。
- ※ 車道用製品は水密性向上のため荷重支持プレート及び連結バッキングを有する製品とする。
- ※ 車道用製品は段差・騒音の抑制のため後打ちコンクリートが露出しない製品とする。
- ※ 路面として求められる水準以上のすべり抵抗を有する製品とする。
- ※ 伸縮装置を設置する際は、舗装厚や主桁の鉄筋などを十分注意した上で施工すること。

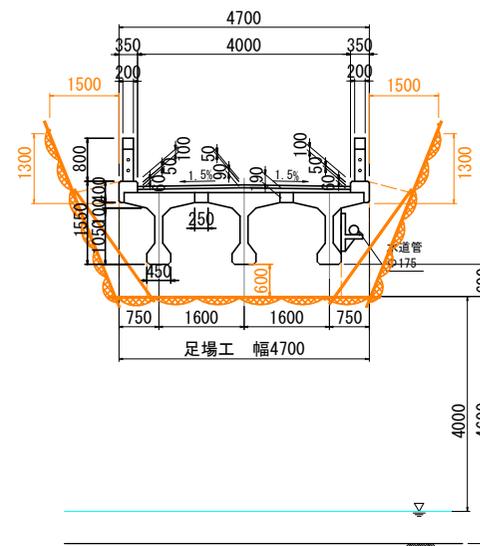
工事名	開運橋修繕工事
路線名	市道8-2号線
工事箇所	飯能市大字下名栗地内
図面名	伸縮継手工図
縮尺	A1出力時図示 図面番号 7 / 10
飯能市建設部道路建設課	

足場工図 開運橋

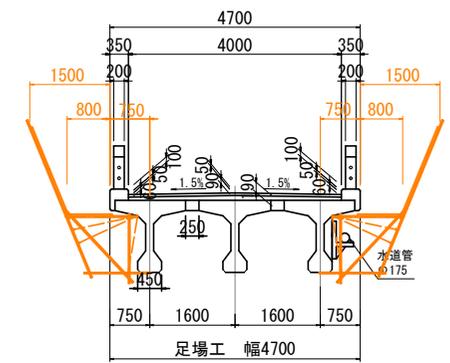
側面図 S=1:100



吊足場断面図 S=1:50



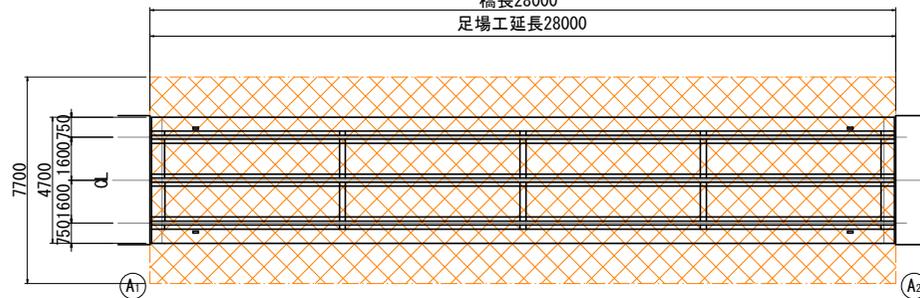
地覆補修等足場断面図 S=1:50



平面図 S=1:100

下面

橋長28000
足場工延長28000



※. 本図は、現地探測を行い作成しているため、施工に当り現地整合の上施工のこと。

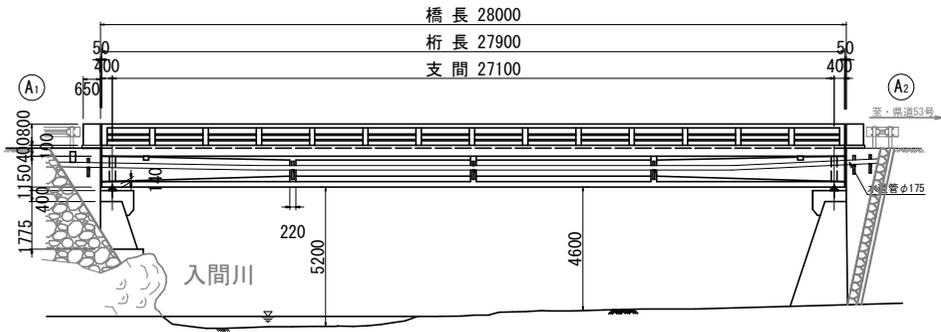
注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

工事名	開運橋修繕工事		
路線名	市道8-2号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図面名	足場工図		
縮尺	A1出力時図示	図面番号	8 / 10

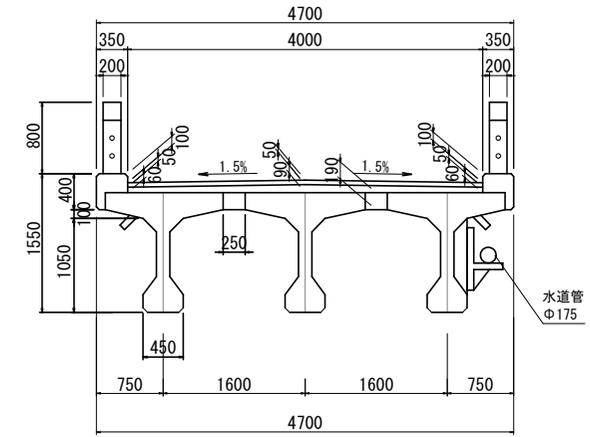
飯能市建設部道路建設課

橋梁一般図 開運橋

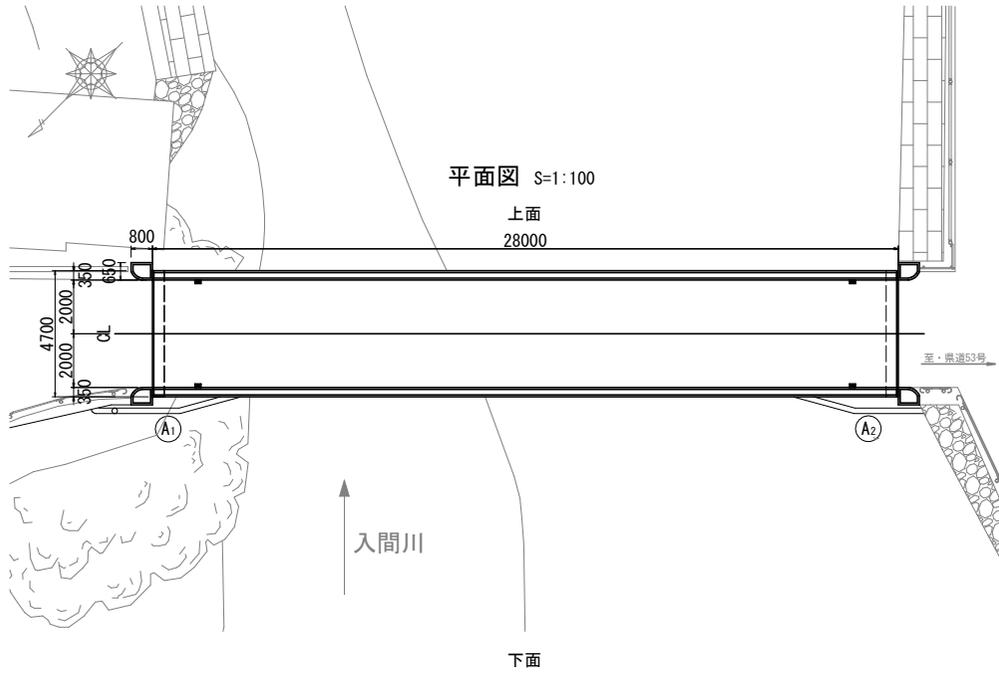
側面図 S=1:100



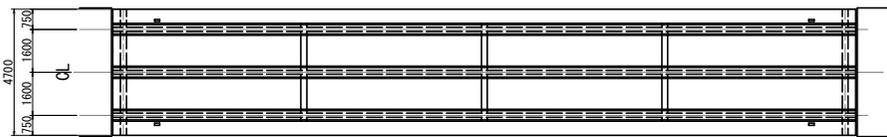
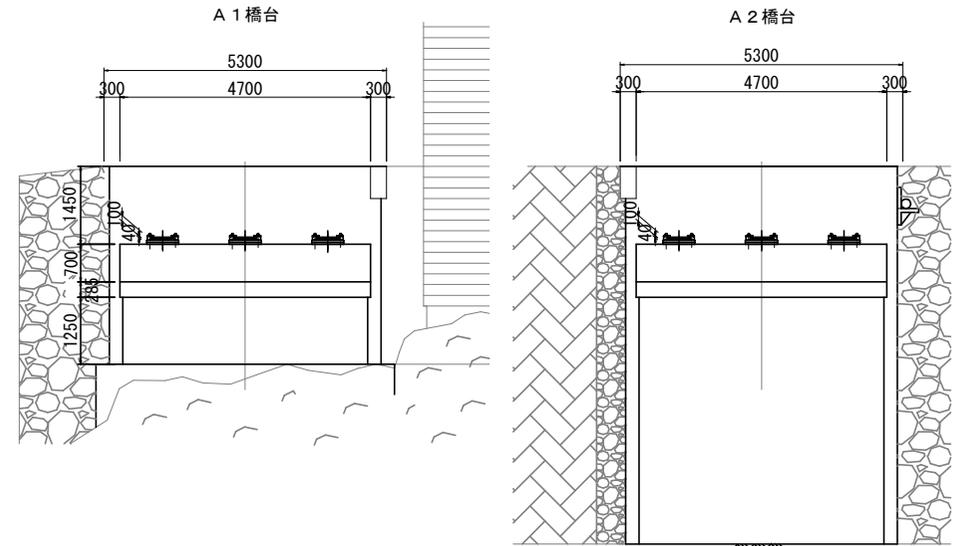
上部工標準断面図 S=1:30



平面図 S=1:100



下部工正面図 S=1:50

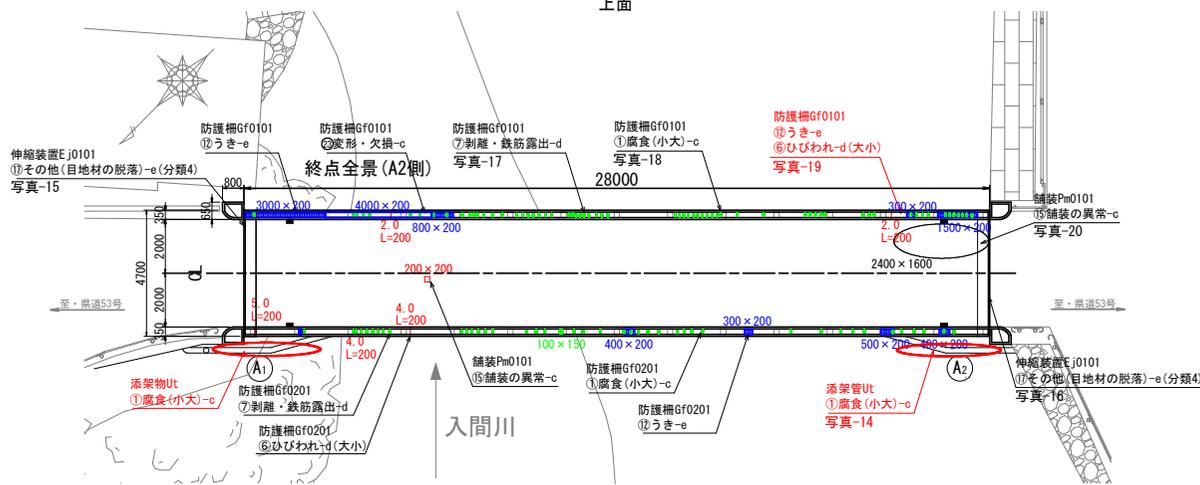


注) 寸法値は、現地計測結果を含む。
 適用示方書は想定。

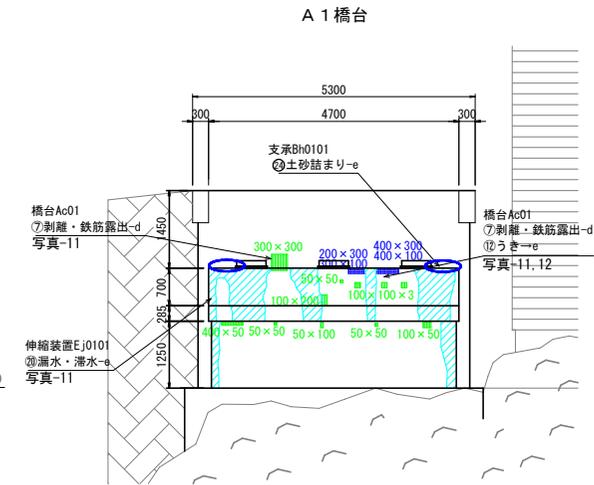
工事名	開運橋修繕工事		
路線名	市道8-2号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図面名	橋りょう一般図		
縮尺	A1出力時図示	図面番号	9 / 10

損傷図 開運橋

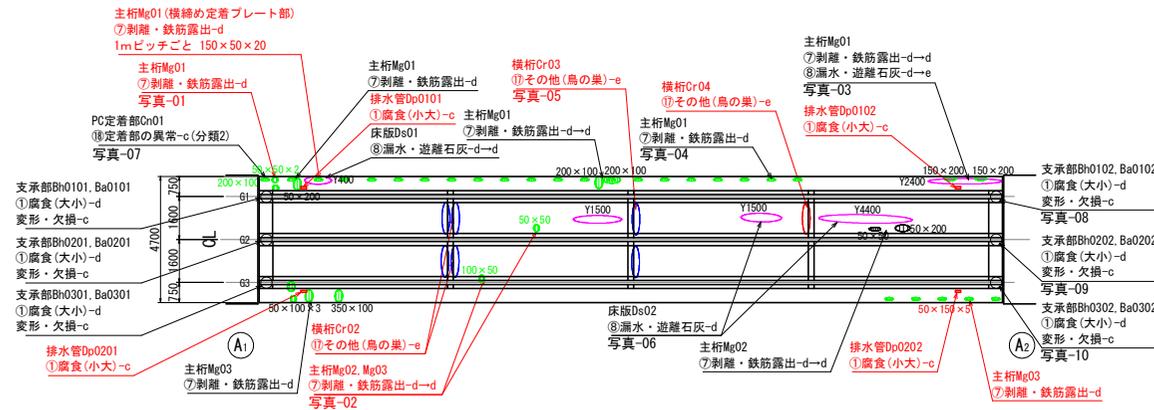
平面図 S=1:100



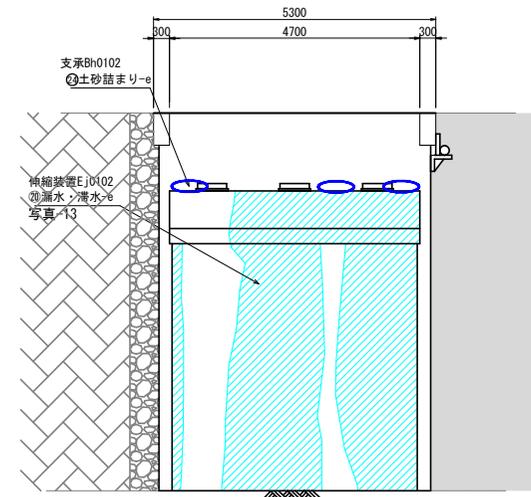
下部工正面図 S=1:50



下面



A2 橋台



凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ	→	遊離石灰	○	うき	■
鉄筋露出	■	その他	○		
剥離	○	漏水	■		

注) 寸法値は、現地計測結果を含む。

工事名	開運橋修繕工事		
路線名	市道8-2号線		
工事箇所	飯能市大字下名栗地内		
図面名	損傷図		
縮尺	A1出力時図示	図面番号	10 / 10
飯能市建設部道路建設課			

※赤字は、前回点検時に記載されていなかったもの及び新規変状